

# ものを運ぶのに段ボールが 欠かせないのはなぜ？



荷物を運ぶときに必ずといっていいほど使われている段ボール。わたしたちの生活に段ボールはなくてはならないものなんだ。日本で最初に段ボールをつくったレンゴーに聞いてみたよ。

## A 中身を保護して、一度にたくさん運べるようになるんだ。

わたしたちのもとにも物が届くときには、必ずといっていいほど、段ボールが使われています。農家がつくった野菜を市場やお店に届けるときには、段ボールにつめられて運ばれます。また工場できあがった製品がお店に運ばれるときも段ボールにしっかり梱包されて運ばれます。段ボールに入れることで、中身を保護できて、しかも一度にたくさん運べるようになるのです。ふだんは気がつかないこともありますが、よく見るとわたしたちの身の周りには段ボールがたくさん使われています。段ボールはなくてはならないものなのです。

**段ボールを使うメリットがたくさんあるよ！**

- フタができるから虫やゴミなどを防げる
- たくさんの品物をまとめて運んで積み重ねもOK
- 箱に印刷でき、中の品物わかりやすい広告にもなる
- 中の品物にぴったりサイズのできる
- 木箱やプラスチックの箱に比べて軽く丈夫
- 中の品物を傷つけないで守れる

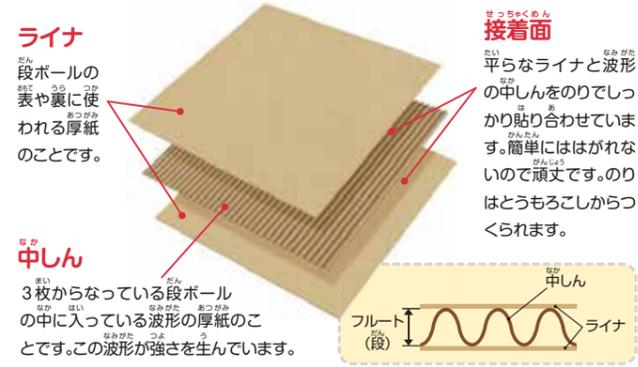
### 段ボールは何に使われてる？

わたしたちの身の回りには段ボールはどんなことに使われているかな？ たとえばこんなものがあるよ。



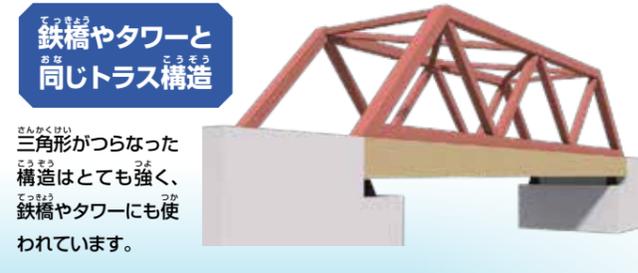
### どういう構造になってるの？

段ボールはただの厚い紙ではなくて、波形の中しんとライナを組み合わせた構造になっています。中しんとを両側からライナで貼り合わせた「両面段ボール」がもっともよく使われています。ほかにも片側だけ貼り合わせた「片面段ボール」や、2層にしてより強度を高めた「複両面段ボール」、3層の「複々両面段ボール」などの種類があります。波形になった中しんが段ボールの強さの秘密で、また中の品物を保護する役目を果たします。



### 紙なのに強くて丈夫なわけ

段ボールの中しんとライナの構造は、三角形がつらなつた構造で「トラス構造」といいます。橋やタワーなどにも使われているとても強い構造なのです。段ボールは紙でできていますが、とても丈夫なのはこの構造が理由です。

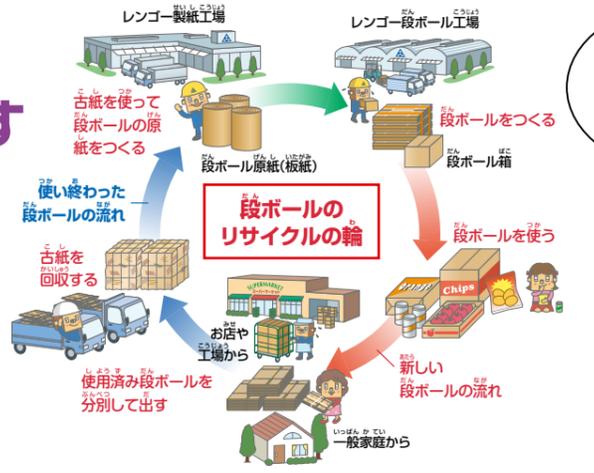


### 車がのっても大丈夫！



### リサイクルで環境にやさしいのも特徴です

段ボールの原料は、そのほとんどが、使い終わった段ボールを再利用した古紙でできています。段ボールは使われたあとに、家庭やお店などから回収します。その回収した古紙を使って段ボールの原紙をつくり、それからまた段ボールができていきます。段ボールは何度でも再生できてゴミにならず、資源を有効に活用できるのです。



レンゴーの古紙利用率はなんと98%!

### 段ボールはなくてはならない大切なもの

答えてくれた人 レンゴー株式会社 広報部広報課 長井絵里子さん

段ボールは150年以上前にイギリスで発明され、日本では明治時代の1909年にレンゴーの創業者、井上貞治郎がはじめて段ボールをつくりました。以来、わたしたちの身近な存在として、たくさんの段ボールが使われています。畑でとれた野菜も、工場できられた製品も、大切なものを世の中に届けるためには、必ず段ボールが必要になります。電気やガス、水道などと同じように、今や段ボールは、わたしたちの生活に欠かせないものになっています。

### 段ボールはさらに進化!

紙からできている段ボールですが、じつはいろいろな機能を持つ進化した段ボールが登場してきています。たとえば紙なのに燃えにくい防災段ボールや、野菜のおいしさを守るものなど、さまざまな新しい機能を持つ段ボールがあります。

- 紙なのに燃えにくい** (紙なのに燃えにくい防災段ボール「RAFFÉP」)
- 水に強い** (ぬれても平気な耐水・防湿段ボールもありません)
- サビや静電気を防ぐ** (電子部品などを運ぶときに便利な段ボールもあります)
- 野菜の元気をを守る** (野菜の呼吸や水分の蒸発をおさえておいしさを守ります)



段ボールは経済発展のバロメーターといわれています。